

わらず、市内外から4500人の方が訪れ、賑わいを見せました。

また、「しらせ」寄港に併せ、海上自衛隊 中西大湊地方総監にも、本市までお出でいただき、10日には文化センターにおいて、海上自衛隊大湊音楽隊による記念演奏会や、トークショーを開催し、多くの皆さんに楽しんでいただくことができました。

出港前夜となる11日には、本市主催の歓迎レセプションを開催し、関係団体の方々とともに、本年11月に、第58次南極観測隊支援のため、南極に向け出航する「しらせ」隊員の皆さんを激励したところです。

今回の「しらせ」寄港は、子どもたちに科学への興味や夢を与えるとともに、多くの方々に、改めて南極観測の意義や、更には、地球環境への理解を、一層深め



ていただく機会になったものと考えています。

### 北極海航路の活用に向けた視察について

かつては、年間を通じて厚い氷に覆われていた北極海が、近年の地球温暖化の影響により、氷が少なくなる夏に限り、船舶の航行が可能になったことから、現在、「北極海航路」が、新たな海上輸送ルートとして、着目されています。

北極海を通り、ヨーロッパと東アジアを結ぶこの航路は、従来のスエズ運河を経由する「南回り航路」に比べ、航行距離が6割と、経済的に大きなメリットがあると言われていています。

また、この航路は、北海道周辺海域を通過することから、宗谷海峡に面する本市においても、これまで、



航路の活用について、関心を持って、情報の収集に努めてきたところです。

このような中、今回、北海道が、荒川副知事を団長に、北極海航路による、道内港湾の利用の可能性を探る欧州視察を実施することとなり、視察団の一員として、石狩、苫小牧の港湾管理者と共に、本市からは青山副市長を参加させました。視察団は、先月10日から17日までの8日間の日程で、ロシアの港湾都市ムルマンスクや、フィンランドの首都ヘルシンキなどを訪問し、北極海航路の欧州側拠点を目指す、ロシア北西部のバレンツ地域の関係者のほか、州政府や、北極海航路関係機関との、情報交換など行ってきました。

訪問先では、北海道や稚内港の知名度の高さや、北海道の港がハブ港となる有力な場所であると、認識されていることが理解できた一方で、この航路の商業化に向け、運航コストなど解決すべき課題があるなどの報告を受けたところです。

この視察結果を参考にしながら、今後も、北極海航路における、稚内港の地理的優位性を活かした活用について、調査・検討を進めていきます。



### 地域医療対策に係る視察について

昨年10月、本市をはじめ、関係団体からなる「地域医療を考える市民会議」が発足し、現在、地域で医療を支えるための、様々な取組が進められているところです。

その一環として、地域医療に関する先進的な取組を調査・研究するため、去る7月19日から22日の日程で、本市職員、町内会連絡協議会、社会福祉協議会、青年会議所など、この市民会議の構成団体から10人が参加し、福岡県大牟田市、宮崎県延岡市を視察しました。

視察先では、「認知症になっても安心して徘徊できるまち」を目指し、地域全体で高齢者を見守るネットワークづくり、あるいは、搜索のための模擬訓練につ

いて説明を受け、また、安易な時間外受診の抑制、医師をはじめとする医療従事者を、支え励ます活動、更には、市民の健康長寿を推進する仕組みづくりなどを学び、参加者からは、「改めて、地域ぐるみで取り組む重要性を、確認することができた。」との報告を受けています。

本市としては、地域の医療を守るという、共通の目標を掲げ、今後も、「市民会議」と連携して、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

### 大規模排出油事故対策訓練について

かねてから、第一管区海上保安本部が中心となり、本市をはじめ関係機関が参加し、油防除訓練を実施してきましたところです。

本年度は、先月25日、稚内港において、大規模排出油事故で想定される事態を、現地災害対策本部の立ち上



げから、全て組み込んだ実働訓練が行われました。本市も地元自治体として、青山副市長が、現地災害対策本部長の任にあたり、対策方針決定などの指揮を執るとともに、海面に浮いた油や、沿岸に漂着した油の防除訓練では、関係機関と連携し、各種油防除資機材の設置・使用による、円滑な油処理や、回収作業を行ったところです。

今後、万が一の事故発生に備え、関係機関との連携強化を図りながら、地域防災対応能力を高め、油防除体制の強化に努めます。

かつてから、宗谷海峡では、サハリンIIプロジェクトの進展に伴い、多くの大型タンカーが航行しており、船舶の衝突や、乗揚げなどに起因する、大規模な油排出事故が懸念されているところです。

## 9月補正予算

【一般会計】 8億1,338万3千円 追加  
 【特別会計】 104万5千円 追加  
**【補正総額】 8億1,442万8千円 追加**

※一般会計、特別会計、企業会計を合わせた予算総額の前年度同期比は3.0%の増となります。

【一般会計補正予算の主な内容】

総務費	843万4千円	緊急告知ラジオ等整備事業	ほか
商工費	3,440万円	サハリン定期航路運航支援事業	ほか
土木費	7億6,254万6千円	除雪対策管理事業	ほか
教育費	587万6千円	生涯学習推進施設整備事業	ほか